

令和4年7月21日

関係者各位

群馬県剣道連盟
会長 小林 一隆
[公印省略]

稽古・試合前の竹刀の点検の励行について（お願い）

時下、益々ご清祥のことと拝察申し上げます。

平素より当連盟の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、7月の始め某支部の剣道教室で女子小学生（2・3年生）が模擬試合をしていたところ、竹刀が折損し相手の面金の中から竹片が入り、額に切り傷を負う事故が発生しました。幸いに失明や死亡などの重大事故にはつながりませんでした。が、一歩間違えればと考えるとゾッとする様な事故です。破損した竹刀の写真を以下に載せますが、事故の発生原因は、竹刀が中結部と鐳元部の2箇所割れていて、打突の瞬間にその部分の竹片が剥がれ前方に飛び出し事故に至った様です。2箇所の折損は同時か別々には不明ですが、当該剣道教室の先生方の推論では、①過去に中結部あたりが割れていたが、中結で隠されていて気づかなかった。②模擬試合中に何らかの衝撃で新たに鐳元部が割れて飛び散った。と言う事です。



いずれに致しましても、二度とこの様な事故が発生しないように、稽古・試合前には必ず竹刀の点検（剣道を志す者にとっては、最低限の礼だと思えます。）を行うように、各支部傘下にあります学校、道場、剣道教室、剣道クラブ等に注意喚起の指導の徹底をお願い申し上げます。

特に、小学生についてはこの様な点の注意意識は希薄ですので指導者は勿論ですが、子どもの保護者に対しても破損竹刀による事故についての注意喚起（稽古前の竹刀の点検）を促し、大人全員で破損竹刀（ササクレ、亀裂等のある竹刀）による事故防止に努めて頂きます様、よろしく
お願い申し上げます。

以上